

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月24日

上場会社名 株式会社ヒガシトゥエンティワン 上場取引所 東
 コード番号 9029 URL <https://www.e-higashi.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役代表執行役社長(氏名) 児島 一裕
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役(氏名) 田口 宗勝 (TEL) 06-6945-5611(代表)
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	34,687	17.4	1,957	16.1	2,063	15.6	1,296	15.0
2024年3月期第3四半期	29,537	17.6	1,685	15.8	1,785	14.9	1,127	13.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,345百万円(6.4%) 2024年3月期第3四半期 1,264百万円(26.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	98.13	—
2024年3月期第3四半期	85.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	29,572	13,245	44.8
2024年3月期	25,535	12,311	48.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 13,245百万円 2024年3月期 12,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期(予想)				38.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,500	4.6	2,450	11.9	2,600	12.6	1,640	8.8	124.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 株式会社ネオコンピタンス、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	13,264,000株	2024年3月期	13,264,000株
2025年3月期3Q	38,025株	2024年3月期	89,525株
2025年3月期3Q	13,207,622株	2024年3月期3Q	13,155,057株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日~2024年12月31日)におけるわが国の経済は、雇用情勢・所得環境の改善やインバウンド需要の回復など、景気は緩やかに持ち直しの傾向がみられるものの、米国の金利動向に伴う為替リスクの影響や、不動産市場の停滞の継続に伴う中国経済の先行き懸念など、景気の先行きは依然として見通し難い状態が続いております。

物流業界においては、個人消費や企業活動に持ち直しの動きが見られるなど、物流需要は底堅く推移しているものの、物価上昇、米国の新政権における政策動向や中東地域をめぐる情勢などの影響によるリスクがあり、今後の経営環境への影響が不透明な状況にあります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は346億87百万円(前年同期比17.4%増)、営業利益は19億57百万円(同16.1%増)、経常利益は20億63百万円(同15.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億96百万円(同15.0%増)となりました。

要因としましては、大手EC向け業務の神戸西ロジスティクスセンター、川西ロジスティクスセンターの開設、新貨幣対応の精密機器の配送・設置業務や大手インフラ会社向け資材販売の取扱物量が増加したことに加え、2024年10月より株式会社ネオコンピタンスの新規連結を開始したことなどにより、大幅増収となりました。

また、利益につきましては、2024年6月の株式会社ネオコンピタンス買収による取得関連費用(80百万円)に加え、大手EC向けの大型新倉庫の立上げや、それに伴う倉庫の再編の為の一時費用などにより、第2四半期連結累計期間においては前年対比で、減益となっておりますが、その後、利益が順調に積み上がってきたことから、増益となっております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 運送事業

当事業につきましては、売上高は179億83百万円(前年同期比9.9%増)となり、セグメント利益は21億40百万円(同6.4%増)となりました。これは主に、新貨幣対応の精密機器配送・設置業務や大手EC向けの配送業務により売上が増加したことによるものです。

② 倉庫事業

当事業につきましては、売上高は104億52百万円(前年同期比32.2%増)となり、セグメント利益は8億81百万円(同20.3%増)となりました。これは主に、大手EC向け業務の倉庫開設により売上が増加したことによるものです。

③ 商品販売事業

当事業につきましては、売上高は38億21百万円(前年同期比15.1%増)となり、セグメント利益は2億47百万円(同45.6%増)となりました。これは主に、大口得意先に対する資材販売業務が増加したことによるものです。

④ ウェルフェア事業

当事業につきましては、売上高は8億53百万円(前年同期比7.1%増)となり、セグメント利益は1億36百万円(同12.5%増)となりました。これは主に、福祉用具の貸出しにより売上が増加したことによるものです。

⑤ その他

当事業につきましては、売上高は15億77百万円(前年同期比36.8%増)となり、セグメント利益は2億48百万円(同8.9%増)となりました。これは主に、株式会社旅人における2024年4月からの価格改定や2024年10月より株式会社ネオコンピタンスの新規連結の開始により売上が増加したことによるものです。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ40億37百万円増加し、295億72百万円となりました。資産の主要科目の増減は、現金及び預金が2億76百万円増加し、営業未収入金及び契約資産が回収等により5億49百万円減少し、建物及び構築物が倉庫開設等により5億39百万円増加し、のれんが株式会社ネオコンピタンス買収等により6億17百万円増加し、有形固定資産のその他が新倉庫建設に伴う手付金の支払等により23億52百万円増加し、差入保証金が大手EC向け業務の倉庫開設等により3億50百万円増加いたしました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ31億3百万円増加し、163億26百万円となりました。負債の主要科目の増減は、営業未払金が支払い等により5億88百万円減少し、短期借入金が11億円増加し、流動負債のその他が新倉庫開設に伴う手付金の支払等により14億96百万円増加し、長期借入金が7億97百万円増加いたしました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ9億33百万円増加し、132億45百万円となり、自己資本比率は44.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は、概ね当初計画の予想範囲内で推移しており、2024年5月10日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,062,459	4,338,570
受取手形	410,609	445,022
営業未収入金及び契約資産	6,316,940	5,767,315
商品	388,027	329,022
その他	567,302	734,867
貸倒引当金	△7,754	△10,236
流動資産合計	11,737,584	11,604,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,144,322	2,683,802
機械装置及び運搬具（純額）	1,528,732	1,578,000
土地	3,944,721	3,944,721
その他（純額）	1,514,417	3,866,951
有形固定資産合計	9,132,194	12,073,476
無形固定資産		
のれん	421,341	1,039,234
その他	182,128	154,941
無形固定資産合計	603,470	1,194,175
投資その他の資産		
投資有価証券	1,211,873	1,305,845
差入保証金	2,307,494	2,658,085
その他	586,159	781,689
貸倒引当金	△43,463	△45,397
投資その他の資産合計	4,062,063	4,700,222
固定資産合計	13,797,728	17,967,874
資産合計	25,535,312	29,572,436

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,251,747	2,663,496
短期借入金	2,030,000	3,130,000
1年内返済予定の長期借入金	499,052	793,144
未払法人税等	533,103	332,141
賞与引当金	359,297	289,275
その他	1,843,850	3,340,278
流動負債合計	8,517,050	10,548,335
固定負債		
長期借入金	2,663,817	3,461,514
退職給付に係る負債	152,731	152,509
資産除去債務	330,343	416,682
その他	1,559,481	1,747,742
固定負債合計	4,706,374	5,778,448
負債合計	13,223,425	16,326,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,001,996	1,001,996
資本剰余金	140,422	177,259
利益剰余金	10,850,916	11,672,667
自己株式	△43,931	△18,659
株主資本合計	11,949,403	12,833,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390,403	434,402
退職給付に係る調整累計額	△27,919	△22,013
その他の包括利益累計額合計	362,484	412,388
純資産合計	12,311,887	13,245,652
負債純資産合計	25,535,312	29,572,436

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	29,537,180	34,687,461
売上原価	23,752,228	28,219,553
売上総利益	5,784,952	6,467,907
販売費及び一般管理費	4,099,515	4,510,446
営業利益	1,685,436	1,957,461
営業外収益		
受取利息	55	80
受取配当金	24,419	26,766
受取賃貸料	36,793	35,254
助成金収入	12,693	28,491
保険解約返戻金	15,571	1,600
その他	32,281	49,388
営業外収益合計	121,816	141,582
営業外費用		
支払利息	9,122	20,413
賃貸費用	9,331	9,168
その他	2,912	5,675
営業外費用合計	21,367	35,257
経常利益	1,785,885	2,063,785
特別損失		
固定資産除却損	15	19,221
特別損失合計	15	19,221
税金等調整前四半期純利益	1,785,870	2,044,564
法人税等	658,610	748,531
四半期純利益	1,127,259	1,296,032
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,127,259	1,296,032

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,127,259	1,296,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131,888	43,998
退職給付に係る調整額	5,314	5,905
その他の包括利益合計	137,202	49,904
四半期包括利益	1,264,462	1,345,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,264,462	1,345,937
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社は、2024年6月14日開催の取締役会決議に基づき、2024年7月8日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての自己株式51,500株の処分により資本剰余金が36,837千円増加、自己株式が25,271千円減少しております。その結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が177,259千円、自己株式が18,659千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	商品販売 事業	ウエル フェア事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	16,362,638	7,491,629	3,318,913	686,911	27,860,093	1,052,732	28,912,825
その他の収益	—	415,056	—	109,328	524,385	99,969	624,355
外部顧客への売上高	16,362,638	7,906,686	3,318,913	796,239	28,384,478	1,152,702	29,537,180
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	16,362,638	7,906,686	3,318,913	796,239	28,384,478	1,152,702	29,537,180
セグメント利益	2,011,971	732,941	170,058	121,433	3,036,405	228,042	3,264,448

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、労働者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,036,405
「その他」の区分の利益	228,042
全社費用(注)	△1,579,011
四半期連結損益計算書の営業利益	1,685,436

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	商品販売 事業	ウエル フェア事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	17,983,288	10,005,814	3,821,574	730,803	32,541,481	1,473,212	34,014,693
その他の収益	—	446,497	—	122,300	568,798	103,968	672,767
外部顧客への売上高	17,983,288	10,452,311	3,821,574	853,104	33,110,279	1,577,181	34,687,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,983,288	10,452,311	3,821,574	853,104	33,110,279	1,577,181	34,687,461
セグメント利益	2,140,855	881,368	247,522	136,658	3,406,406	248,365	3,654,771

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、労働者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,406,406
「その他」の区分の利益	248,365
全社費用(注)	△1,697,310
四半期連結損益計算書の営業利益	1,957,461

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」において、株式会社ネオコンピタンスの株式を取得し、新たに連結子会社化したことにより、のれんが725,710千円発生しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	563,136千円	717,497千円
のれんの償却額	89,675千円	107,817千円